

GRUANテクニカルドキュメント (GRUAN-TD-5)

GRUANが当社製ラジオゾンデの技術評価認証を公開

GRUAN(気候変動を監視するための高精度な高層観測網の構築推進を図る国際機関)から、当社製ラジオゾンデRS-11GおよびIMS-100が、その観測に求められる性能を満たしていることを認証する技術文書が出版・公開されました。

1930年代から主に天気予報を目的とするラジオゾンデによる高層気象観測が開始されました。しかしながら、気候変動監視を目的とする場合には、より高精度で品質の様な気候データの蓄積が必要と言われてきました。それを受けて、2006年頃からその気候変動監視を目的とする高層気象観測網が企画・構築されてきています。

その高精度な性能要求を満たしているとの認証は、これまで世界で1例しかありませんでした。このたび、当社製ラジオゾンデ2機種が世界で2例目としてGRUANで求められる技術評価をクリアし、結果をとりまとめた「GRUANテクニカルドキュメント(GRUAN-TD-5)」が出版・公開されました。これは、当社のラジオゾンデ2機種の観測データが、気象変動を監視するために十分使用できることの証です。

この成果を最大限活用して、海外気象局への提案活動を強化していきます。

(担当: 気象防災事業部)



QCASTシリーズ S740-P

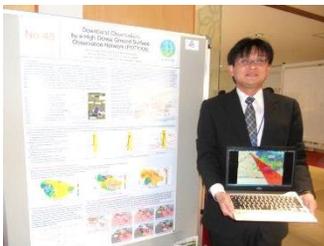
QCASTシリーズ 緊急地震速報新演算方式に対応

当社は、3月から導入された気象庁緊急地震速報新演算方式(PLUM法)に対応したQCASTシリーズの新機種(S740-P受信ユニット、S704-FCP1受信装置)をリリースしました。

本装置は気象庁から配信される新しい緊急地震速報電文を新たな予測手法で処理し、従来の緊急地震速報より正確で精度の高い予測が可能となっています。これにより、強い揺れが来る前に音声放送やアラーム装置などで注意を促すことや、各種装置・設備の自動制御などがこれまでより精度良く行えるようになります。

明星電気はパワーアップしたQCASTシリーズにより、巨大地震の脅威からみなさまの安全安心を守ります。

(担当: 気象防災事業部)



参加した当社社員

風工学会国際学会WRDMに参加

3月11~14日、東北大学青葉山キャンパスにて開催された「風工学会国際会議WRDM(International Workshop on Wind-Related Disasters and Mitigation)」において、当社は群馬県・埼玉県エリアのPOTEKAIにより観測されたダウンバースト観測事例と、その観測データを利用した突風予測技術に関する研究発表を行いました。

海外の研究者の方々からは、局地的な気象事象であるダウンバーストの詳細観測データを取得することができたのは、世界的に見ても非常に価値があるとの評価を受け、それを実現したPOTEKAIにも高い関心が集まりました。

当社はみなさまの安全安心に貢献すべく、「突風予測システム」の実用化に向けて研究開発を進めていきます。

(担当: 気象防災事業部)

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。